



6年生と**お別れ給食**... を楽しみました!!
卒業を間近に控えた6年生と校長室と一緒に給食を食べました。6年間のいろいろな思い出や中学校・将来に向けての希望などなど...大きな笑い声もあがり、楽しいひとときであったという間に時間オーバーになってしまいます。

今年度、院庄小学校の機関車として154名の後輩たちを力強く引っ張ってくれた40名の素晴らしい6年生たち。卒業おめでとう!! がんばれ!!

学校評価について

3/6に地域の学校関係者(学校評議員・PTA会長)の方に平成25年度

の本校の取組について評価をしていただきました。その結果を載せております。普段から子どもたちの様子をよく見ていただいております。様々な面で学校に協力していただいております。昨年度からの児童たちの大きな成長も気づいていただいております。おほめの言葉をいただきました。

皆さんからいただいた貴重なご意見やご指摘を来年度学校経営に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。



6年生を送る会 ...大盛会でした

計画・企画・準備そして当日の進行と5年生の初仕事でした。昨年度までの送る会に一工夫も二工夫も加えて素晴らしい送る会を仕上げました。各学年の出し物も心がこもっており、感動的でした。

5年生は態度も堂々としておりもう立派な最高学年の顔をしていました。まかせたぞ!!5年生!!



平成25年度 津山市立院庄小学校 学校評価書 ~今年度の結果です					
(A: 目標を上回った B: ほぼ目標通り C: 目標を下回った)					
学校経営目標等	具体的計画	今年度の達成基準	自己評価		
			成果と課題	評価	
			学校関係者評価		
			評価	総合	
子どもたちにとって「楽しい学校」「楽しい学級」を創る	①わかる授業づくりを行い学力向上をめざす ②喜びや悲しみを共有できる、寛容な集団づくりをする	言語活動の充実をめざし、ICT機器を活用して効果的な学習を行う	ICT研修は、県センターより年間通して講師の先生を招聘し計画的に研修が行われた。11月には、ICT研究会を行い校外から多くの先生方の参加もあり、大盛会だった。全教員の技術も大きく向上し、日常的に視覚支援による学習効果をあげている。	A	A
		めあてとまとめのフラッシュカードを使った授業を毎時間行う。宿題等の100%提出(西中ブロック統一取組)。	「めあて」と「まとめ」のある授業は、全クラスで定着してきており、児童がその時間の見通しをもって授業に取り組んでいる。宿題などの提出は努力しており、100%提出をめざしている。	A	
		年間100冊以上の読書達成を行う。	2学期末現在183名中73名が達成した。200冊以上は16名だった。300冊400冊500冊達成した子もいる。学校支援ボランティアの読み聞かせ活動(週1回)が定着してきており、子どもたちの楽しみな時間となっている。	B	
保護者・地域の方々にとって「安心・安全な学校」を創る	①学習面、生活面すべてで安心して子どもを任せられる信頼関係を構築する	「チャイムのはじまりの合図」を合言葉に時計を見ながら動く。	子どもたちは時計を見ながら行動が習慣化されてきている。朝のはじまりや20分休みの後などチャイムが鳴る前に運動場から教室に入る子どもたちの姿が見られる。低学年も高学年の様子を見て同じように行動することで習慣を身につけている。	A	A
		毎週水曜日のゆとりタイムには、のびのびと外で遊ぶ。	児童が外で体を動かして遊ぶ姿が多く見られた。「ゆとりタイム」には、教員も運動場に出て遊びの輪の中に入っている。それぞれの遊びをとてもよい表情で楽しんでいる姿が見られる。体力作りだけでなく、遊びを通しての人間関係はぐんぐん伸びている。	B	
		児童会を中心にあいさつ運動を毎月行う。	児童会が毎月3日間実施している。月ごとにめあてを決めおこなっている。期間中はどの児童も頑張っている。期間中だけでなく、日常的な習慣にしたい。	B	
教職員にとって「組織で動く学校」を創る	①校内組織が一枚岩で実働化するようにする	職員室への入室時マニュアルを作成し実施する。	職員室入室時マニュアルは定着してきている。「学年・名前・用事の内容」を丁寧な言葉で言うことで後に続く言葉も丁寧になっている。時と場所に合わせた言葉づかいや態度の育成に効果をあげている。	A	A
		くつをきちんと揃える。	昨年12月よりの取り組みである。くつ箱にかかとを合わせるためのしるしをつけて取り組んでいる。しるしを見ることで、意識してくつをきちんとそろえることができています。	A	
		話をせず、もくもくと掃除を行う。	毎週木曜日の掃除では、黙って掃除を行う「もくもくそうじ」を実践している(1月より)。子どもたちは、「させられる掃除」から「する掃除」へと自分で判断し行っている。黙って動く「心を磨く」時間となっている。	A	
院庄地区民生児童委員(10名)との連携を図る。	9月13日には、学校をあげて「民生児童委員と学校との連絡会」を行い、子どもたちや地域の様子を情報交換ができた。日頃の連携もできている。	A			
学校便り、学校ホームページ等で児童の様子等を発信する	学校だより(月一発行)・学校HPで学校や児童の様子等をこまめに紹介することで、学校に関心を持ってもらっていることがきている。	A			
A	A	週一回の学校運営の会(校長・教頭・各主任)を行う。	学校行事や学年の様子などを話し合い、情報を共有することができた。多忙の中、時間の確保が課題である。	A	A
		全職員(全職種)が経営案を作成する。	学校は多職種で成り立っており、自分の職務に誇りを持って取り組むことが学校にとって大切と考える。	A	
		小中連携を推進する。	校長会・教頭会・教務主任の会を開き、学習・生活において連携した取り組みを行っている。情報交換も密にできている。	B	
A	A	保育園・幼稚園・小学校の話し合いを月1回持ち、共通理解を深め、指導を行う。	日常の取り組みについて情報交換を行い、連携に役立っている。また、新入生について、小学校入学時の不安の軽減、落ち着いた学習環境づくりに成果を挙げている。	A	